（1） あ ず き

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 さび病 *Uromyces phaseoli* var. *azukicola*	1. 連作を避ける。 2. 被害茎葉は集めて土中深く埋める。	発生初期	M3	ジマンダイセン水和剤
2 灰色かび病 *Botrytis cinerea*	1. 被害茎葉は集めて土中深く埋める。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. ゲッター水和剤とファンタジスタ顆粒水和剤は、菌核病と炭疽病にも登録がある。 2. スクレアフロアブルは菌核病にも登録がある。	発病前から	10･1	（混）ゲッター水和剤
		発生初期	11 11	ファンタジスタ顆粒水和剤 スクレアフロアブル
3 フキノメイガ （アズキノメイガ）	1. 被害茎を早めに抜き取る。 2. 冬期に被害茎を集めて圃場に持ち出し、処分する。 3. 圃場周辺の雑草処理を徹底する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. フキノメイガの成虫は６月中下旬、７月下旬～８月上旬、８月下旬の３回発生する。 2. スミチオン、トレボンはカメムシ類にも登録がある。 3. トレボンはハスモンヨトウにも登録がある。 4. アグロスリンとトレボンはノメイガ類で登録がある。	成虫発生最盛期	1B 1B 1B 3A 3A 3A 3A	スミチオン乳剤 エルサン乳剤 トクチオン乳剤 アディオン乳剤 アグロスリン乳剤 トレボン乳剤 トレボン粉剤ＤＬ
4 アブラムシ類 （モザイク病 ＡＭＶ ＣＭＶ ＢＣＭＶ ＢＹＭＶ）	1. 無病種子を用いる。 2. シルバーテープをはる。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. ＡＭＶ、ＣＭＶ、ＢＣＭＶ、ＢＹＭＶは虫媒伝染する。	発生初期	1B 1B 1B 1B 3A 3A 3A 4A	スミチオン乳剤 マラソン乳剤 マラソン粉剤３ エルサン乳剤 アディオン乳剤 アグロスリン乳剤 トレボン乳剤 ダントツ水溶剤
5 ハダニ類	1. 発生源になる周辺雑草や作物残さ等を除去する。	発生初期	6 10A 13 21A 21A 21A	コロマイト乳剤 ニッソラン水和剤 コテツフロアブル ダニトロンフロアブル ピラニカＥＷ サンマイトフロアブル
6 タネバエ	1. 有機物の多用を避ける。 2. 早播きを避ける。 3. 排水を良好にする。	播種時	1B	カルホス粉剤
7 ネキリムシ類	1. 圃場内や周辺雑草を除去する。 2. 株に被害があったときは、株元の土を浅く掘り起こして幼虫を捕殺する。	播種時	1B	カルホス粉剤